学校番号	３０４

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	第１学年	CREATIVE English Communication I NEW EDITION システム英単語 5 訂版

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰの授業は、「話す」、「書く」、「聞く」、「読む」という４技能の力をつけ、英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることを目標としています。そのため聞いたり読んだりしたことを基に、ペアやグループで情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業中の活動に積極的に参加する意欲を持って臨んで欲しいです。

・教科書に出てくる文法事項や言語表現を使って自分の考えを表現する言語運用能力だけでなく、教材を通して得られる様々な情報や知識を基に考え、自分の思いをまとめ、そしてそれを伝えようとする姿勢を身につけて欲しい。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけ練習していきましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	◆情報や考えの概要をとらえることができる。 ◆情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ◆事実と意見を区別して聴くことができる。 ◆リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聴くことができる。	◆情報や考えの概要を捉える事ができる。 ◆情報や考えの要点や詳細をとらえることができる。 ◆事実と意見を区別して聴くことができる。 ◆聴き手に伝わるように音読することができる。 ◆内容の要点を示す語句やつながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。	◆知識や経験に基づき、情報や考えについて、話しあったり意見の交換をしたりすることができる。 ◆相手の話す内容に応じて返答や相槌ができる。 ◆相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができる。	◆事実と意見を区別して話すことができる。 ◆与えられた話題について即興で話すことができる。 ◆リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら話すことができる。	◆知識や経験に基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 ◆内容の要点を示す語句やつながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。 ◆事実と意見を区別して書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともにこれらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実践のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な問題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する絵理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	Lesson1 The First Step Toward Your Goals Lesson 2 Where Does “Good Taste” Come From?	聞くこと	a: Sound Focus の内容を理解し、単語の正しい発音・アクセントを身に付けている。 b: Part 1～3 の T-F について、正答することができる。 c: Part 1～3 の T-F について、F の誤文訂正をしようとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: Comprehension で本文内容を整理して読み取り、空欄に適切な語句を補うことができる。 c: Retell において、題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で題材内容を説明しようとしている。	定期考査（リーディング）Q、T-F への解答状況
		話すこと（発表）	a: Sound Focus の内容を理解し、単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: 本文から整理･理解した内容を活用して Your Performance や Now You Say It!の問題に答えることができる。 c: Retell において、題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で題材内容を説明しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 発信語彙（新語のうち赤色で示したもの）の適切な用法を理解している。 b: 発表する英語のアウトラインを書くことができる。 c: 発表する英語のアウトラインを積極的に書こうとしている。	提出課題（予習・授業ノートなど）
	中間考査			
	Lesson 3 The Rise of the Smart Age Lesson 4 A Healthy Planet	聞くこと	a: Sound Focus の内容を理解し、単語の正しい発音・アクセントを身に付けている。 b: Part 1～3 の T-F について、正答することができる。 c: Part 1～3 の T-F について、F の誤文訂正をしようとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: Comprehension で本文内容を整理して読み取り、空欄に適切な語句を補うことができる。 c: Retell において、題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で題材内容を説明しようとしている。	定期考査（リーディング）Q、T-F への解答状況
		話すこと（やり取り）	a: 相づちを打ったり話題を広げたりするなど、円滑なコミュニケーションをするためのコツを理解している。 b: ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。	・ペアワーク、グループワークでの活動状況
		話すこと（発表）	a: Sound Focus の内容を理解し、単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: 本文から整理･理解した内容を活用して Your Performance や Now You Say It!の問題に答えることができる。 c: Retell において、題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で題材内容を説明しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 発信語彙（新語のうち赤色で示したもの）の適切な用法を理解している。 b: 発表する英語のアウトラインを書くことができる。 c: 発表する英語のアウトラインを積極的に書こうとしている。	提出課題（予習・授業ノートなど）
	期末考査			
2 学期	Lesson 5 The Adventures of *Curious George*’s Creators Lesson 6 Art Meets	聞くこと	a: Sound Focus の内容を理解し、単語の正しい発音・アクセントを身に付けている。 b: Part 1～3 の T-F について、正答することができる。 c: Part 1～3 の T-F について、F の誤文訂正をしようとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: Comprehension で本文内容を整理して読み取り、空欄に適切な語句を補うことができる。 c: Retell において、題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で題材内容を説明しようとしている。	定期考査（リーディング）Q、T-F への解答状況

	Health in Hospitals	話すこと（発表）	a: Sound Focus の内容を理解し、単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: 本文から整理･理解した内容を活用して Your Performance や Now You Say It!の問題に答えることができる。 c: Retell において、題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で題材内容を説明しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 発信語彙（新語のうち赤色で示したもの）の適切な用法を理解している。 b: 発表する英語のアウトラインを書くことができる。 c: 発表する英語のアウトラインを積極的に書こうとしている。	提出課題（予習・授業ノートなど）
	中間考査			
	Lesson 7 To Stop Plastic Pollution Lesson 8 Stories to Be Passed On	聞くこと	a: Sound Focus の内容を理解し、単語の正しい発音・アクセントを身に付けている。 b: Part 1～3 の T-F について、正答することができる。 c: Part 1～3 の T-F について、F の誤文訂正をしようとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: Comprehension で本文内容を整理して読み取り、空欄に適切な語句を補うことができる。 c: Retell において、題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で題材内容を説明しようとしている。	定期考査（リーディング）Q、T-F への解答状況
		話すこと（やり取り）	a: 英語のリズムやイントネーション、意味のまとまり、音の変化に関する知識がある。 b: ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。	・ペアワーク、グループワークでの活動状況
		話すこと（発表）	a: Sound Focus の内容を理解し、単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: 本文から整理･理解した内容を活用して Your Performance や Now You Say It!の問題に答えることができる。 c: Retell において、題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で題材内容を説明しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 発信語彙（新語のうち赤色で示したもの）の適切な用法を理解している。 b: 発表する英語のアウトラインを書くことができる。 c: 発表する英語のアウトラインを積極的に書こうとしている。	提出課題（予習・授業ノートなど）
	期末考査			
3 学期	Lesson 9 Will Human Beings and AI Go Hand in Hand? Lesson 10 When Do We Become an Adult?	聞くこと	a: Sound Focus の内容を理解し、単語の正しい発音・アクセントを身に付けている。 b: Part 1～3 の T-F について、正答することができる。 c: Part 1～3 の T-F について、F の誤文訂正をしようとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: Comprehension で本文内容を整理して読み取り、空欄に適切な語句を補うことができる。 c: Retell において、題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で題材内容を説明しようとしている。	定期考査（リーディング）Q、T-F への解答状況
		話すこと（やり取り）	a: Sound Focus の内容を理解し、単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。	・ペアワーク、グループワークでの活動状況
		話すこと（発表）	a: Sound Focus の内容を理解し、単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: 本文から整理･理解した内容を活用して Your Performance や Now You Say It!の問題に答えることができる。 c: Retell において、題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で題材内容を説明しようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 発信語彙（新語のうち赤色で示したもの）の適切な用法を理解している。 b: 発表する英語のアウトラインを書くことができる。 c: 発表する英語のアウトラインを積極的に書こうとしている。	提出課題（予習・授業ノートなど）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度